令和６年５月２日　NO．３

東小だより

刈谷市立小垣江東小学校

笑顔あふれる学校をめざして

校庭のケヤキの木の新緑が美しい季節になりました。本校のスローガンは、「一にあいさつ、二に返事、三に笑顔の東っ子」です。特に、東小の学校生活の中で、子どもたちの自然な笑顔が多く見られるようになってほしいと願っています。そのためには、まず職員がいつも上機嫌で笑顔でいること、そして、何より子どもたちの心が開放され、どの子にとっても教室が温かく居心地のよい場所であり、その中で安心して、のびのびと自分らしさを発揮できることが重要だと考えます。また、ふれあい活動による異学年間のかかわりや動植物の飼育活動などの直接体験を大切にすることで、豊かな心が育まれ、笑顔いっぱいになると考えます。これからも子どもたちの笑顔があふれる温かい学校・学級づくりに努めていきたいと思います。

４年生　ホタルの学習を進めています

【日々のホタルのお世話】

毎日２５分放課に、４年生の３人グループが輪番で、職員室にあるホタルの飼育場所で幼虫の世話をしています。水温を測ったり、水の量を調整した後、幼虫の餌になるタニシをあげたり、タニシの食べ残しやゴミを取ったりしています。そして毎日の幼虫の様子を日誌に記録しています。

【ホタル小屋の整備】

４月１７日（水）に、せせらぎ街道やホタルドームの整備をしました。草をみんなで取ったり、あらかじめ学校の運動場に運び込まれていた川砂を、バケツに入れて、せせらぎ街道やホタルドームに運び込んだりしました。運んだ砂は、ホタルの幼虫が岸の土の中に潜ってさなぎになる大切なものです。みんなで協力して活動ができました。

【ホタルの幼虫の放流】

４月２５日（木）に「ホタル放流会」を行いました。最初に、ホタル再生会の方々から放流の仕方についてのお話を聞いてから、再生会の方々が用意してくださった幼虫を、一人５匹ずつスポイトを使って吸い上げプラスチックカップに入れました。そして、ホタルドームに移動し、『しっかりホタルになって元気に飛んでほしい』という願いを込めて、カップ内の幼虫を水と一緒に、雨樋を使ってせせらぎに優しく放流しました。

今回は、刈谷特別支援学校の６人の子どもたちとも一緒に行いました。

６月上旬（予定では５日（水）と６日（木））に、ホタルドーム内でのホタル鑑賞会を計画しています。詳しい内容につきましては、後日連絡させていただきますので、お時間がありましたら、ホタルの飛び交う様子を見に来ていただければと思います。

１年生　初めての給食

４月１６日（火）に、１年生の小学校での給食がスタートしました。白衣への着替えや、給食当番の仕事の仕方を、６年生のお兄さんとお姉さんが優しく教えてくれました。小学校生活初めての給食の献立は、ご飯、牛乳、チキンカレー、コロッケ、福神あえでした。

会食中の１年生の子どもたちの様子を見に行くと、「見てみて、全部食べたよ」「カレー、すごくおいしい」などと笑顔で話してくれました。

ふれあい活動が始まりました

本校の教育活動の柱の一つは“ふれあい”です。本校では、異学年交流の縦割り活動を「ふれあい活動」と呼んでいます。その第１回目の活動である「ふれあいチーム発足会」が４月２５日（木）に行われ、今年度の活動がスタートしました。体育館で行われた発足会では、赤・青・黄・白の各色チームの代表の６年生からスローガンが発表されました。どのチームのリーダーもやる気がいっぱいで、自分のチームを“すてきなチーム”にするぞという意気込みが伝わってきました。各チームのスローガンは以下のとおりです。

赤チーム:助け合いの心をもち、常に明るく協力しあうぞ！！赤チーム
青チーム:みんなで団結してドラえもんのひみつ道具のように何でもできるぞ青チーム
黄チーム:どんなときでも助け合い　支え合い　もりあがりでみんな元気に黄チーム
白チーム:仲間と協力し、助け合い、団結するぞ！！白チーム

その後、それぞれの教室に移動し、自己紹介をしたり、記念撮影をしたりしました。１年間、楽しくふれあいながら、有意義な活動にしていきましょう。

高学年の子たちの優しさを至るところで見ることができました

※次回、「東小だより」の発行は５月下旬の予定です